

切磋琢磨



令和2年6月19日 第5号

“チーム天中3年”で乗り越えよう

心配された6月1日から2週間の分散登校期間を無事終えることができました。久々の授業では、クラスの人数も半分でマスクをつけ控えめな反応でした。しかし、しっかり話を聞く、自ら発表する、字を丁寧に書く、そして課題を提出するなどプラスの変化が多くの人に見られました。3年生としての自覚の表れだと思います。その気持ちを大切にしてください。

これからの時代を生きる若いみなさんには‘予測不能な未来に対応する力’が必要と言われていますが、その未来が突然やってきて大人が戸惑っているのが現状です。今までに経験のない世の中となり、どう対応するか、どう生きるかが試されています。

まず今、気をつけなければならないことは、感染予防です。手洗いの徹底・マスクの着用・人との距離を保つことなど、見えない未知のウイルスに対して、今はこれが有効であると考えられていることを全員で行うことが大切です。

過去や現在のデータから、リスクを避けた未来のあり方を予測する学問のことを未来学というそうです。ある未来学者が、感染拡大によって未来がますます予測困難になったと言っていました。しかし、誰もが未来学者になれると言うのです。自分の希望する未来、未来を最善にするために、今何をすべきか考えて行動する。不確定なことが多くて不安はあるけれど、今考えられる最善を尽くすことがより良い未来につながるということです。多くの情報から、自分に必要な正しい情報を選んで、判断することも必要になります。

しかし、みなさんは一人ではありません。家族、そして天王寺川中の仲間や先生がいます。この学年281名の同級生は、これからの受験というしんどい時期を乗り越える仲間です。切磋琢磨するライバルであり、支え合う仲間です。新しく来ていただいた先生方を加え15名の学年の先生たちは、みなさんの進路実現を支えるサポーターでもあります。互いの距離をとる、話し合いが制限されているこの時期ですが、困っていること、心配なこと……遠慮なく相談してください。心は近い存在でありたいと思っています。みなさんにとって最善の未来を考えて取り組んでいきます。

ただし、実際に決断し、行動するのはみなさん一人ひとりであることは忘れないでください。この学年で良かったと思えるよう、一緒に頑張りましょう。(学年主任 小谷先生より)

◆給食の連絡◆ 担当：倉本先生

- ・給食前後の手洗い徹底！ ・4校時終了後→当番はエプロンを準備する。
- ・当番の手洗い後、各クラスが分かれて手洗いを行う。
- ・配膳台の準備・消毒・片付けは教師のみが行う。
- ・配膳を行う生徒は左手（食器をもつ手）にはゴム手袋をして配膳を行う。
- ・配膳には必ずトレーを使い、自分のお皿は自分で受け取る。
- ・当面、前向きで机を離して食事をする。 ・食事中・配膳中は立ち歩かない、話をしない。
- ・「いただきます」「ごちそうさま」は委員のみ、他は黙礼する。
- ・食器を片付けた後、そのまま手洗いに移動する。



オンライン学年集会を開きました 司会：井本先生

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、大人数での集会が出来なくなりました。そこで3年生は、オンラインで学年集会を行いました。3年1組を拠点として映像を各教室に配信し、他クラスは映像を生放送で見るといった取り組みでした。コロナウィルの影響で失ったものは沢山ありますが、新たに学んだことや気づけたことも沢山あります。少し聞き取りづらいうところもあったかと思いますが、今回の学年通信の内容は先日の学年集会で話した内容をまとめたものなので、目を通しておきましょう。



◆学習に向けて◆ 担当：坂本先生

先日の学年集会でお伝えした内容を再度まとめて掲載しておきます。まず皆さんが心配している「未履修も含めて教科書の内容は全て終わるのだろうか」という部分です。この部分に関しては、皆さんにとってはしんどいかも知れませんが、22日から7校時学習を実施する形で、授業時数をしっかりと確保しています。そのため、卒業までに終わらせる予定なので、安心してください。また、学習面で心配な生徒に関しても、自習型の学習会だけでなく、個別の質問を受け付ける学習会も計画しており、積極的に参加してもらえたらと思います。

授業に関しては、なかなか通常通りの学習を行うことができません。そのため、授業中のペア学習やグループ学習などまだまだ実施できない状況にあり、評価がしにくい状況にあります。そのため、「関心・意欲・態度」の観点については、提出物がとても重要になっていきます。提出物を丁寧に仕上げ、空白や丸付けの抜けなどがないようにしておきましょう。

テストに関しては、1回1回が進路に繋がる大切なテストになります。「あの時にしておけば良かった」「授業を聞いておけば良かった」など、テストの後に言っても後の祭りです。1回1回が勝負だと思って、日々の授業から頑張ってください。

また、技能教科も重要です。よく技能教科の授業の態度や作品などはきちんとするが、ペーパーテストは適当にしている、通知表の評価が伸びなかった人がいると思います。しかし、進路の話をするときに、意外と「受験する」か「受験を断念する」かの境目に技能教科の成績が影響していることがあります。ペーパーテストも一所懸命に勉強して臨みましょう。

◆進路より◆ 担当：矢羽田先生

先日、各クラスで進路学習が行われました。「今後のスケジュールの確認」と「今、自分にできることは何か」を考えることがねらいでしたが、全員が真剣に取り組んでいたと思います。特に「今、自分にできることは何か」を振り返るワークシートにはほとんどの人が黙々と書き込んでいました。次の「今できること」は、授業にしっかり取り組んで期末テストに臨むことです。高校についても、今わかる範囲で調べ、「準備」をしっかりとっておきましょう。

◆生徒指導から◆ 担当：赤瀬先生

先日のオンライン学年集会では5つの話をさせて頂きました。

①髪について②制服の丈について③話し方（言葉遣い）について④不要物について⑤インターネットのトラブルについて

この2年間の学年集会で同じような話をしてきました。前日や当日に直すような、付け焼き刃は通用しません。自分の希望する進路見つけ、実現に向けて、学習面も含めて、普段の学校生活においてしっかりと意識した行動を心掛けてください。